

「お金のヒミツや仕組み」をより分かりやすく ＜富裕層が注目するヴィラ投資の魅力とは？＞



「富裕層の間ではヴィラ投資が流行っているらしいけど、実際のところどんな魅力があるんだろう…」

と思っている方。

ヴィラとは「別荘」「屋敷」「邸宅」を意味する言葉で、主に一軒家の豪華な宿泊施設です。そして富裕層の間では、バリ島のヴィラを購入して貸し出す「ヴィラ投資」が注目されています。

とはいえ、ヴィラ投資にどのような魅力があるのかはわかりにくいですね。

そこで、この記事では、

- そもそも「ヴィラ」とは
- 富裕層が注目するヴィラ投資の魅力
- ヴィラ投資の相場

の順にヴィラ投資を解説します。外国の不動産投資というと難しく感じるかもしれませんが、概要を知るだけならハードルは高くありません。

まずはこの記事で、ヴィラ投資について大まかにつかみましょう！

1. そもそも「ヴィラ」とは

冒頭でも説明しましたが、ヴィラとは「別荘」「屋敷」「邸宅」を意味するイタリア語です。

一軒家でリゾート地にあることが多く、中はキッチンやダイニングルーム、寝室などに分かれています。

そしてヴィラ投資では、バリ島を訪れる観光客や長期で滞在したい人に向けて貸し出して、収益を狙う方法がほとんどです。バリに住んでいる現地の人よりも、外国からバリを訪れる人に貸し出すほうが売上アップを狙えます。

2. 富裕層が注目するヴィラ投資の魅力3つ

ここからはヴィラ投資の魅力を

1. 安定して高い利回りで運用できる
2. 資産のリスクを分散できる
3. ヴィラ投資の合間にバリ島を旅行できる

の順に紹介します。

1. 安定して高い利回りで運用できる

ヴィラ投資における第一の魅力は、安定して高い利回りを出し続けることです。バリ島の不動産を紹介する「バリ島不動産倶楽部」では利回りが15%を超える物件も登場しています。

その理由はマレーシアやタイなど ASEAN 諸国の経済発展により、バリ島のあるインドネシアの経済が押し上げられたためです。アジアの経済は今後さらに発展する見込みで、ヴィラ投資への注目度もアップするに違いありません。

2. 資産のリスクを分散できる

資産リスクの分散もヴィラ投資の魅力です。富裕層は株や金、絵画、不動産など、さまざまな資産に投資することで価値が大きく減ることを防いでいます。

ヴィラに投資することには、儲けを狙うだけでなく資産を守る働きもあるのです。

3. ヴィラ投資の合間にバリ島を旅行できる

バリ島を定期的に訪れることも、富裕層がヴィラ投資をする目的です。そして、同じ時期にバリ島を訪れた富裕層との情報交換やバカンスを楽しみます。

投資としての収益性やリスク分散はもちろんのこと、バリ島への訪問も楽しめるのはヴィラ投資のメリットです。

次は、ヴィラ投資の相場について紹介します。

3. ヴィラ投資の相場

ヴィラ投資で得られる収益は1日あたり「1.5万円～2万円」に収まります。そして、1ヶ月あたり最低でも15日は稼働するとすれば、1ヶ月で「22.5万円～30万円」が収益です。

日本でこれだけの収益を得ようとするならば、マンションをいくつも所有しなければなりません。これがヴィラ投資だと1番人気の地域でも2000万円、どれだけ高くても4000万円ほどで購入できます。

海外不動産というハードルの高さはありますが、利回りで考えると日本のものよりお得なことがお分かりいただけるかと思います。

4. ヴィラ投資の魅力は「利回りの高さ」「安全性」「楽しさ」

ここまでヴィラ投資の魅力について紹介しました。まとめると、ヴィラ投資は安定して利回りが高く、資産リスクの分散にもなる投資先で、かつバリ島などリゾートを楽しめるのもメリットです。

ヴィラ投資に興味を持たれた方は、文中でもご紹介したバリ島不動産倶楽部でどのような物件があるかチェックしてみてください。

>>更に資産運用に関する情報を見られたい方は向け。

お金のプロを目指す！「日税FPフォーラム」はこちら

⇒<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

福田 猛

ファイナンシャルスタンダード株式会社 代表取締役

大手証券会社入社後、10年間、1,000人以上の資産運用コンサルティングを経験。2012年IFA法人であるファイナンシャルスタンダード株式会社を設立。独立系資産運用アドバイザーとして数多くのセミナーを主催し、幅広い年齢層の顧客から支持を受け活躍中。

著書に「金融機関が教えてくれない 本当に買うべき投資信託」(幻冬舎)がある。

2015年楽天証券IFAサミットにて独立系ファイナンシャルアドバイザーで総合1位を受賞。

■■■■■ 著作権など ■■■■■

著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することは、著作権法に触れる行為となります。また、メールマガジンにより専門的アドバイスまたはサービスを提供するものではありません。貴社の事業に影響を及ぼす可能性のある一切の決定または行為を行う前に必ず資格のある専門家のアドバイスを受ける必要があります。メールマガジンにより依拠することによりメールマガジンをお読み頂いている方々が被った損失について一切責任を負わないものとします。

参考

経済金融情報メディア「F-Style」: <https://fstandard.co.jp/column/>

“F-Style”とは？

人々の暮らしと密接に関わる「お金のヒミツや仕組み」を、より分かりやすくお伝えする経済金融メディアです。